



部長通信

第 6 号

2016 年 12 月発行

主題 出会い、ふれあい、響きあい、前へ進もう

副題 ワイズライフを楽しもう

2016-2017 中部部長 川口 恵
(名古屋クラブ)

12月の西日本区強調月間 EMC-E YES

山藤 哉 EMC事業主任 (京都グローバルクラブ)

Eは新クラブを設立すること。YESは新クラブ設立支援に使われます。献金で集められた資金の3分の2は、集められたエリアの区で使われます。

中部の皆様、12月に入りました。秋も終わってクリスマスシーズンになりましたが、いかがお過ごしですか。12月号は、11月の行事を中心にお伝えします。

また、金沢芋煮会、フェローシップイン南山、チャリティランについては、会長、実行委員長からの報告をいただきました。原稿をお寄せいただいた皆様ありがとうございます。

熊本地区ワイズによる復興支援の状況は九州部の宮崎部長よりお寄せいただいた情報を基に作成しています。ご覧いただいてこれからも皆さまの温かいご支援をお願いしたいと思います。

今年の部長通信はこれが最後です。半年間ご覧いただきありがとうございました。また原稿、編集のご協力ありがとうございました。どうぞ良いクリスマスと新年をお迎えください。次は1月にお送りします。

掲載項目

1. 熊本での第2回役員会参加(11月5日、6日)
2. 金沢犀川クラブ例会訪問(11月10日)
3. 名古屋YMCAチャリティラン(11月12日)
4. 中部評議会およびEMCシンポジウム(11月26日)
5. 金沢芋煮会(金沢クラブ西会長より)(10月30日)
6. フェローシップ・イン・南山(南山杉山会長より)(11月3日)
7. 名古屋YMCAチャリティラン(青木実行委員長より)(11月12日)
8. 熊本地区ワイズによる復興支援の状況
9. 12月以降のワイズの行事予定・周年行事など

各クラブ活動の詳細は中部ホームページに掲載の各クラブブリテンをご覧ください。

(中部ホームページ URL <http://www.ys-chubu.jp/main/index01.html>)

1. 第2回役員会(11月5日6日)

熊本YMCA及び阿蘇キャンプ場で開催

第2回役員会は、熊本と阿蘇キャンプ場で開催されました。この趣旨は、役員会のあと、震災支援の状況を現場で見る、というものです。

初日は熊本中央YMCAにて役員会のあと、マイクロバスで阿蘇キャンプ場へ移動。震災の影響で通行止めの道路もあるため、途中からは渋滞です。阿蘇キャンプ場では、料理長一人で作るおいしい料理のほかに、前九州部長で阿蘇ワイズメンズクラブの五嶋メンが、阿蘇の赤牛のステーキを焼いてくださって、とてもおいしかったです。おいしさの秘訣は、わらと炭で焼いていること、焼き立てをすぐ食べることに、調味料は五嶋メンブレンドの塩コショウのみ。阿蘇キャンプ場は、シャワーだけでなくお風呂があり温まることができました。夜は、皆6人部屋で、キャンプ場に来た気分を味わいました。

翌日は昼食後、マイクロバスで益城町総合体育館へ行きました。ここは震災前には熊本YMCAが指定管理者であり、震災で避難所になってそのまま避難所運営をしたところ。避難所が閉鎖された直後であり、住民の方はいらっしゃいませんでしたが、熊本地区のワイズメンとメネットが共同で作った天幕がまだあり、また段ボールとカーテンで作った個室スペースも展示されていました。この避難所は、名古屋YMCAからも中村総主事、牧連絡主事、東海クラブの鈴木一弘メンが支援に行っていますので、YMCAスタッフの指導のもと、子供達も協力して避難所運営を行っていた様子を聞いた方も多くいらっしゃると思います。

避難所が閉鎖された今は、仮設住宅に住まわれている方や、子供達を中心に心のケアや体を動かすことに重点を置いた活動をしていくとのことでした。

なお、益城町周辺では震災で壊れたままの家も多く見受けられました。震災支援で活躍されている熊本地区のワイズメンでも、工事業者が足りずに、まだまだ家屋の修復に手がついていないところも多いとのこと。

JR熊本駅のくまもんは、「頑張るばい」のたすきをかけていました。熊本のワイズによる復興支援活動を、まだまだ応援していきたいと思います。

熊本のワイズによる熊本震災復興支援の状況の途中経過を今回、部長通信でも報告いたします。



2. 金沢犀川クラブ訪問(11月8日)

金沢犀川クラブ公式訪問はメンバーの一人竹中メンのご自宅にあるホールで、ピアニストの鈴木さんをお迎えしてショパンの演奏とパリの話を楽しみました。また、竹中メンは、お得意のフルートでワイズソングを演奏してくれました。平口メン、竹中メンのメネットや、友人の参加もあり総勢12人の例会でした。ショパンの時代はこんなサロンコンサートが一般的だったとのことで、ショパンの時代に思いをはせる例会でした。



3. 名古屋YMCAチャリティラン(11月12日)

今年のチャリティランは秋晴れの日でした。チャリティランでは、ランナー以外にボランティアとしてワイズメンやユースリーダーと一般の方もボランティアとして参加していただいています。なかでも、子供から大人まで大人気なのが、手打ちそばです。一昨年から、NEXCO 中日本の会社の方で、そば打ちを趣味としている方々が、名古屋YMCAチャリティランで本格的な手打ちそばを提供してくださっています。チャリティランの会場でそば打ちをすることはできないため、今回も、前日から400食以上のそばを、そば打ち名人2段、3段の方を中心に手打ちされました。チャリティラン当日には、このそばを会場に持参して、注文に応じてそばをゆでます。手打ちならではのちょっと腰のあるそばは、鰹だしのつゆとよく合い、走ったランナーにも、ボランティアで応援している人にも大好評です。時間によっては長い列ができる時も。並んでも食べたい本格的な手打ちそばです。NEXCO 中日本のそば打ち名人の皆様、今年もありがとうございました。お蔭さまで、みな、心も、お腹も満たされました。



4. 中部評議会(11月26日)、EMCシンポジウム(11月26日)

中部評議会、11月上旬までの活動についてを各クラブ会長、事業主査の皆様から報告がありました。(主査や各クラブの活動報告は、中部部報第2号で報告する予定です。)

また、部長報告では、熊本震災支援でワイズの支援実績を報告させていただきました。



第2回中部評議会に続き、EMCシンポジウムでは京都グローバルクラブの山藤EMC事業主任を迎えてメンバー増強、あるいはエクステンションについて考える機会を持ちました。

今回は、参加者のほとんどの方に発言していただくことができてよかったと思います。

山藤主任の京都グローバルクラブでは、カンボジアに学校を建設し、今後はミャンマーに学校を建設する予定とのことです。ワイズってこんな活動しているよ、と友人や仲間にアピールできたら新しいワイズの仲間が増えるかもしれません。

5. 金沢芋煮会

金沢クラブ会長 西信之



文化の日は、例年晴れることが多い。この日に、金沢クラブメネット会の主催で、子供達の遊具や野球場等が整った内川スポーツ広場で芋煮会が開催されるが、今年は10月30日に変更となった。素晴らしい秋晴れの自然の中で、薪割、火お越しに始まり、クレンザーを外に塗った大型鍋2個を竈にかけ、醤油、酒や砂糖の入った出汁を煮て、大野上庄村の里芋、仙台牛のロース、ネギ、こんにゃく、を放り込み、薪の煙に燻されながら里芋が柔らかくなるのを待った。そろそろ、と思われるタイミングで、洗った五郎島金時に新聞紙を巻き、更にアルミ фольで覆って、炭となって赤く熱した薪の近くに置いてじっくりと焼いた。煮えた鍋を芝生のベンチに置き、ブルーシートに座って熱々で牛肉たっぷりの芋煮をおにぎりやお手製の浅漬けと一緒に大変おいしく食した。別腹に大きなほかほかの焼き芋を入れ終わった頃には、日が西に落ちかけていた。公園の向こうに、たわわに実を付けた柿の木が5-6本並び、青空に紅葉と緑のコントラストを更に美しくしていた。この芋煮会の準備をされた数沢メネット会長と、メネット会の皆様に、唯々、感謝の1日であった。因みに、11月3日は、時雨まじりの冷たい雨であった。

6. フェロシップ・イン南山(南山農園)

南山クラブ会長 杉山弘時



1月3日(祝)に南山クラブ最大の奉仕プログラムである「フェロシップ・イン南山」が開催されました。クラブ設立当初より近隣の福祉団体をクリスマス会等へ招待していましたが、20周年記念誌によれば、1979年に尾関ワイズ(名古屋クラブ)の好意により愛知牧場で行った「芋ほり」が現在のスタイルの原型となっているようです。現在は「南山ワイズ農場」で毎年11月3日に開催しています。40年近い歴史の中で招待する対象団体は変わってきていますが、ここ数年は「南山寮」、「名広愛育園」の子供達がその中心です。今年も天候に恵め、約30名の招待者を迎え、恒例の「芋ほり&豚汁」そして焼きたてのPIZZAなどを楽しみました。又、紹介したいのはメンバー以外にも、「南山ワイズサポーター」として毎年支援してくれるメ

ンバーの友人達の存在です。少人数のクラブで自力だけでは限界を感じることもありますが、サポーターに感謝して今後も継続していきます。

7. チャリティラン報告

第23回名古屋YMCAインターナショナルチャリティーラン2016開催

大会実行委員長 青木哲史（名古屋グランパスクラブ）



11月12日(土)紅葉美しい快晴の名城公園で開催されました。名古屋YMCAでは23年目となります。東京の29回目に次いで長い記録だそうで歴史を感じます。現在では20のYMCAで開催されています。今年は開催日が11月の第二週となり寒さと天候が心配されましたが、当日は最高の気候条件の下、参加数は個人レース参加者29名、チーム参加数65チームで4歳から60歳代の方々が自分のスタイルで楽しく走って頂きました。支援金は参加費と個人、団体、法人等の協賛、協力費合わせて総額約498万円となりました。今年は新たな試みとしてレース終了後の時間活用に懸賞付きボール投げ入れを行いました。目標の箱にボールが入るとお米がもらえて好評でした。仮装大賞は限られた予算の中での手作り感がポイントでした。当日の様子は11月5日の中日新聞朝刊市民版にも掲載されました。

8. 熊本震災支援報告

九州部長熊本東クラブ宮崎部長より震災復興支援の状況報告をいただいて川口がまとめました。皆様からご支援いただいた献金は、炊き出しをはじめとして九州部のワイズによる支援活動に役立てられています。その一部を報告します。避難所は閉鎖しましたが、建物の復旧には1年以上かかるようです。まだこれからもワイズと熊本YMCAによる復興支援は続きます。

九州部主催 炊き出しプロジェクト

5月18日 御船町体育館 豚丼・豚汁各175食

6月16日 益城町体育館 豚丼、天草大王からあげ親子丼、豚汁 各350食

7月11日 益城町体育館 豚丼・天草大王からあげ親子丼 各400食

9月12日 益城町体育館 天草大王の釜めし 豚汁、ゆでたまご 各200食

10月10日 益城町体育館 天草大王の釜めし、豚汁ほか各200食準備130食提供 避難所閉鎖になり炊き出しを受け取る人が減少し今回最後



九州部支援 阿蘇YMCAボランティアセンター支援

8月1日～31日 阿蘇地区の支援の拠点として阿蘇YMCA

九州部支援 熊本YMCAキャンプの集い 2016 支援

10月16日 阿蘇YMCAにて、益城町からの参加の子供達の参加費用負担

九州部支援 水泳大会

11月20日 ながみねYMCAにて。水泳合同記録会

目的：震災で活動場所や内容が制限されている各学校水泳部の支援を行う

九州部支援 復興スポーツセンター秋祭り

11月5日 主催熊本YMCA 協力 ワイズ九州部ほか、熊本大学など

目的：避難所閉鎖に伴い、今まで避難されていた方の相互親睦

避難されていた方と地域の方々との交流を図る

ボランティアで活動していただいた方々との交流を深める

ボランティアで定期的に関わっていただいた方への感謝の時とする

場所：御船町スポーツセンター前広場

実施内容：炊き出しを実施する。

募集のチラシ配布先：各種団体、仮設住宅、近隣幼稚園保育園 小学校

9. 12月以降の行事予定、周年行事など

12月の中部の合同例会、DBC 交流会など

12月3日(土) 名古屋地区ワイズ合同クリスマス会

12月15日(木) 金沢地区ワイズ合同クリスマス会

(1) 周年行事案内

① 2月11日(祝土)大阪なかのしまクラブ 20周年記念例会

ホテルグランヴィア大阪 11時～登録費 10,000円 申込は杉浦会長まで 締切 1月20日

② 4月1日(土)長浜クラブ 30周年記念例会

北ビワコホテルグラッツイエ 12時半～登録費 8,000円 申込は伊藤文訓メンまで

③ 4月15日(土)彦根シャトークラブ 35周年記念例会

エクシブ琵琶湖 17時～19時45分 登録費 10,000円、申込は鈴木康夫メンまで

④ 5月14日(日)名古屋東海クラブ 50周年記念例会

マリエカリオン名古屋(出雲殿グループ)12時30分～16時まで 登録費 10,000円

(2) ワイズメンズクラブ東西交流会

2月4日14時～2月5日昼まで

東山荘(御殿場市) 先着 400 名

10 年ぶりの東西ワイズ交流会です。冬の御殿場は少し寒いのですが、富士山もきれいに見えます。いろいろなプログラムを計画しています。DBC交流の機会、ダンス、東西ワイズ対抗戦なども。ぜひご参加ください。なお、詳細なプログラムと申込み方法は各クラブ会長宛に案内が届いており、西日本区ホームページにもアップされています。

(3) 第 20 回西日本区大会

6 月 9 日(金)前夜祭 菊池温泉(美人の湯と熊本産グルメのタベ)

6 月 10 日(土)～11 日(日)

10 日大会会場 菊池市文化会館(バス送迎あり)、菊池市亘 32

懇親会 ホテル日航熊本 熊本市上通町 2-1

11 日大会会場 ホテル日航熊本

(4) 第 27 回アジア・パシフィック地域大会

2017 年 7 月 21 日(金)～23 日(日)

タイ・チェンマイ

※ユースコンボケーションは、7 月 19 日～23 日 タイ・チェンマイYMCA

アジア地域とパシフィック地域が一つになり、アジア・パシフィック地域となりました。

